



観音寺市議会だより

KAN-ONJI CITY COUNCIL No.48 2026.2.1

ミライエ

観音寺の輝く未来へ 市議会の動きをわかりやすくお伝えします

12月定例会のあらまし 2
(議長あいさつ)

一般質問 5
審議結果 11



人口 55,543 人

(2026.1.1現在 内外国人1,587人)
(対10月比 156人減)



検索

観音寺市議会

議長に大平直昭氏

副議長に合田隆胤氏を選出

議長
大平直昭



副議長
合田隆胤



市民の皆さんには、平素より本市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

この度、12月定例会において、議員各位の推挙により、議長・副議長の大役を仰せつかりました。身に余る重責でございますが、市の発展のため、全力でその職務を全うする所存でございます。

現在本市は、交流人口、関係人口を創出すべく、新「道の駅」の整備という大きなプロジェクトを進めております。市长選挙の争点にもなり、皆さんにおかれましても賛否両論あるかと思います。令和8年3月定例会には、当初予算案に土地の購入費や実施設計費などの多額の予算計上が予定されており、大きな選択をする重要な局面を迎えます。

新「道の駅」に限らず、どの事業についても、皆さまのご意見をお聞きしながら、議員一人ひとりが熟慮し、十分な審議を経て、議決により市の意思を決定するという、議決機関としての最も重要な役割をこれからも果たしてまいります。引き続き皆さまのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

観音寺市議会委員会名簿

常任委員会

総務	委員長	立石 隆男
	副委員長	岸上 政憲
	委 員	篠原 重寿
	//	石山 秀和
	//	大平 直昭
	//	土田 祐司

文教民生	委員長	篠原 和代
	副委員長	詫間 茂
	委 員	大矢 一夫
	//	三好 優子
	//	岡崎 洋祐
	//	立石 珠実

議会運営委員会

委員長	大矢 一夫
副委員長	豊浦 孝幸
委 員	石山 秀和
//	立石 隆男
//	篠原 和代
//	三好 優子
//	岸上 政憲

建設経済	委員長	岸上 政憲
	副委員長	金丸 康剛
	委 員	藤田 均
	//	白川 雅仁
	//	合田 隆胤
	//	合田 信一

お知らせ

本議会だよりでは、提出議案の一部を掲載しております。その他、議案などの詳細は市議会ホームページをご覧ください。



定例会が12月2日から12月19日までの18日間の会期で開かれた。

初日には、提出された議案のうち人事案件等3件と、同日追加された人事案件1件を審査した。一般質問では9日に8人、10日に6人が市政についてただした。

各常任委員会では付託された18議案について審査した。最終日には、各常任委員会付託議案を原案のとおり可決・同意した。

また、追加議案が14件提出され、原案のとおり可決・同意した。

12月定例会の主な議案

Pick up!

–議案第67号–

観音寺市名誉市民の選定について

しらかわ せいじ
白川 晴司 氏 (前 観音寺市長)
はまだ けいぞう
濱田 恵造 氏 (前 香川県知事)

- 合併20周年にあたり、本市の発展に貢献された偉大な功績をたたえ、観音寺市名誉市民として選定することについて同意した。

–議案第68号、第81号–

公平委員会委員・監査委員の選任について

- 公平委員会委員

なかの としのり
中野 俊徳 氏

- 監査委員 (議員選任)

とようら たかゆき
豊浦 孝幸 氏

–議案第63号–

観音寺市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

- 児童福祉法の一部改正に伴い、新たに創設された乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）に関する基準を定めるもの。

–議案第70号–

伊吹辺地に係る総合整備計画の変更について

- 老朽化した観音寺市港湾センター（港務所・航路利用者の待合所・トイレ・駐輪場）と、防災上の観点から移設を必要とする伊吹航路券売所を一体的に整備するため、総合整備計画を変更するもの。

-議案第71号-

観音寺市過疎地域持続的発展計画の策定について

- 観音寺市過疎地域持続的発展計画（令和8年度～令和12年度）を策定するもの。

本計画に掲げる施策の効果的な実施によって豊浜町の安定的かつ継続的な持続的発展を目指す。

-議案第75号-

令和7年度観音寺市一般会計補正予算（第4号）

がんばれ観音寺応援基金費

5億2,000万円

- がんばれ観音寺応援寄附金が当初想定していた額を大幅に超えることが見込まれるため積立金を増額するもの。

中小企業振興事業

300万円

- 創業支援補助金について、申請予定者数が当初の想定を上回り補助金の不足が見込まれるため、増額するもの。

中学校タブレット端末整備費（債務負担行為）

期間：令和8年度 限度額：7,544万円

- GIGAスクール構想^{※1}で活用する中学校学習者用端末（令和2年度に整備されたもの）について、香川県公立学校情報機器整備事業費補助金を活用して更新を行うため、県域で実施する共同調達に参加し、選定された事業者と契約を行うもの。

-議案第90号-

令和7年度観音寺市一般会計補正予算（第5号）

観音寺市生活応援券発行事業（重点支援）

2,429万円

- 政府の総合経済対策「生活の安全保障・物価高への対応」で示された物価高騰の影響を受ける全市民への生活支援として、生活応援券を配布するもの。令和7年度中に配布を開始する。

（令和8年度債務負担行為限度額：5億7,605万円）

使用期間	支給額
令和8年4月1日から8月31日までの5ヵ月間（予定）	1人当たり1万円

物価高対応子育て応援手当支給事業

1億7,414万円

- 物価高の影響を強く受けている子育て世代を支援し、子どもたちの健やかな成長を応援する観点から、物価高対応子育て応援手当を支給するもの。令和8年2月中の支給開始を目指す。

対象	支給額
児童手当支給対象児童を養育する父母等	子ども1人当たり一律2万円



※1 1人1台端末や高速大容量の通信ネットワーク等の学校ICT環境を整備・活用することによって、教育の質を向上させ、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現することを目的としている。（文部科学省ホームページより）



豊浦孝幸
自民新風会

（所信表明）

観音寺市の財政について

答弁

健全化である

【質問】 観音寺市の財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率について伺う。

【答弁】 令和6年度の自治体の財政力を表す財政力指数は0.59、毎年度経常的に支出する経費への充当額が占める割合を表す経常収支比率は92.5%、財政規模に対する公債費等の割合を示した実質公債費比率は10.2%である。

持続可能な財政運営を継続するため、今後も財政指標を注視しつつ、各課で事業の効果検証や見直しによる経費削減、事業の効率化、国や県の補助金等の情報収集と活用による財政負担の軽減に努め、健全財政を堅持していく。

【質問】 「道の駅」の建設に伴う新たな税負担を求めるのかを伺う。

【答弁】 「新道の駅」の整備に伴う税金等の市民負担について、市民税の均等割や所得割の税率が上がることは一切ない。

物価高対応子育て応援手当の支給時期と、学校給食費の補助金の増額について伺う

答弁

令和8年2月末に子ども1人当たり2万円の支給を目指して準備を進めている

【質問】 子育て世代に対する国の応援手当の支給をいち早く子育て世代は望んでいるところである。本市では、いつごろ、どのように支給するのか。

【答弁】 18歳までの子どもを養育している家庭に、所得制限なく子ども1人当たり2万円が支給される。支給方法は児童手当受給口座への申請不要の振り込み（プリシユ型）で、令和8年2月末の支給を目指して現在準備を進めている。

小・中学校等の学校給食費は、今後国から交付額が示され、現在検討中の物価高対策の事業内容が決定次第、現行の1食当たり10円の補助へさらに乗せすることを前向きに検討する。

持続可能な市政に重要な人口密度について、市の考えを伺う

答弁

関係各課と計画の趣旨を十分共有し、独自に講じる施策を協議する

【質問】 観音寺市立地適正化計画では、人口密度の問題をどのように解決していくのかを伺う。

【答弁】 人口密度を適切に維持するには、計画に基づく都市機能誘導区域および居住誘導区域への誘導が重要であり、独自の誘導施策を協議検討していく。



石山秀和
公明党

部活動の地域移行をただす（所信表明）

答弁

市独自で指導者の確保と配置を行う運営組織を準備している

【質問】 市教育委員会主導で専門指導員を派遣することがベストではないか。

【答弁】 地域の部活動は状況が個々に異なっていることから、実情に応じた対応をとる。

交通空白地域対策をただす

答弁

利用状況に応じたルートや便数の最適化を図る

【質問】 免許返納者は増え続けている。交通手段のない地域における住民への支援を伺う。

【答弁】 運転免許を持たない75歳以上の高齢者にタクシーシートケットを配布する事業を開始する。

本市独自の若者移住対策をただす

答弁

空き家リフォーム事業を実施している

【質問】 過疎債を活用した無料宅地斡旋事業を提案するが、市の考えを伺う。

【答弁】 施策の有効性や可能性を調査し、財源の確保や不動産会社との調整を含め検討する。

【質問】 移住者の現状は？また、空き家リフォーム補助を増額すべきでは？

【答弁】 空き家バンク制度の直近3年間の成約世帯73世帯のうち、市外からの移住は34世帯である。補助金の増額は予定していないが、ほかの支援策を検討する。

地域医療をただす

答弁

地方公営企業に赤字解消目的の財政的支援はできない

【質問】 二豊総合病院への財政的支援、医師確保支援、救急医療支援を伺う。

【答弁】 独立採算の原則に基づく地方公営企業であるため、市は赤字解消目的の財政支援はできない。国・県と連携して、医師の地域偏在、診療科偏在、高齢化、医師不足の解消に努める。

少子化対策の将来ビジョンをただす

答弁

第2子以降の保育料の完全無償化に取り組む

【質問】 ふるさと納税等の寄附金を集中して活用すべきと考える。

【答弁】 所得制限のない第2子保育料完全無償化および老朽化した大野原こども園の改築に向けた調査事業に着手する。



白川 雅仁
公明党答弁
事務負担軽減につながる
改善を行う成年後見人等が各種通
知送付先を一括で変更
できる仕組みの構築を

【質問】 成年後見人や市民後見人は、市税、国民健康保険、障害福祉、高齢者福祉などの手続きを各窓口で個別に行う必要があり、手続きの煩雑さから負担が大きい。また、行政においても、これらの事務手続きを個別に受ける負担は改善すべき点である。

そこで、双方の事務負担軽減のために、成年後見人等が各種通知の送付先変更を一括して登録・変更できる仕組みを構築すべきである。

【答弁】 成年後見人等が行う事務手続きを一括化することは、市と申請者の事務負担軽減に有効である。現在は一部一括して行える仕組みになつており、それらを拡充する形で改善を進めること。

**重層的支援体制の整備を早急に
先進自治体の体制、事業
内容を調査する**

答弁

【質問】 生活の中で直面する多様かつ複雑な困難を解決に導き、「誰ひとり取り残さない社会」を実現するために、属性やリスクごとの対応ではなく、全体を捉えて取り組む「重層的支援体制」の整備を急ぐべきである。

【答弁】 先進地の体制、人員配置、事業内容を調査し、本市が整備する際の課題、優先的に取り組むべき事業の選択等の研究を進める。

立石 隆男
自民新風会

答弁

施設は長寿命化計画で整備し、学習と校務でICTの効果的な活用を進めている

【質問】 学校や幼稚園、こども園などの更新改築が進んでいるが、今後の計画は？

また、教育現場でのICT活用について伺う。

【答弁】 教育施設の整備は、文部科学省が推奨する「長寿命化改修」を取り組んでいる。長寿命化改修とは、建築経過年数等で建て替えるのではなく、適切なタイミングで改修してトータルコストの削減や整備量の平準化を図るもので、整備手法の工夫により安全・安心で機能的な教育施設の整備を行う。来年度には、老朽化した大野原こども園の建て替えのため、調査事業を予算化する予定である。

ICTについては、学習や校務で効果的な活用が進んでいる。学習面では、タブレット等での調べ学習やプログラミング学習等で効果的に活用している。校務面では、総務事務システムの導入や教職員の服務管理の電子化により、教職員の負担軽減につなげている。

さらに、保護者との連絡方法におけるアプリの活用については、幼稚園、小・中学校では連絡アプリの利用が令和6年2学期から開始されており、保育所やこども園は保育ICTシステムの令和7年度内導入を目指して、事業を進めている。

大矢一夫
自民新風会

答弁

①年間1万円のチケットを交付
予定、②次年度予算に計上する、
③次年度は希望する中学校に導入

【質問】 令和7年6月定例会で質問した高齢者へのタクシー代補助について、進捗を伺う。

【答弁】 令和8年度から、運転免許を持たない満75歳以上の高齢者を対象に年間1万円分のタクシーチケットを交付する事業を実施し、9月頃を日途に交付したいと考えている。

【質問】 令和7年3月定例会で質問した大野原こども園改築計画の進捗を伺う。

【答弁】 建て替えに伴う調査事業にかかる経費を令和8年度当初予算に計上する。

【質問】 令和7年9月定例会で質問したAードリルの小学校への導入時期は？

【答弁】 中学校においては、Aードリルの活用が定着し一定の成果が見られている。令和8年度は希望する小学校に導入して試験的に実施する予定である。学年に応じた活用や紙を用いたドリルとの両立などの試行を通して、発達段階に応じた効果的な活用を探り、導入を円滑に進めていくよう努める。

所信表明について
(1)高齢者タクシー代補助、
(2)大野原こども園、(3)Aードリル



茂間 茂
自民新風会

答弁 ボイラーについても要綱の範囲で補助金を交付できる

公益性のある銭湯の修繕について

【質問】本市に1軒しかない銭湯（公衆浴場法に規定する公衆浴場）が、ボイラーの故障により絶えず休業しており、家に風呂がない人たちには大変困っている。そこで、市や県の補助金でボイラー本体を取り替えることができないのかを伺う。

ちなみに、萩の湯には毎年500万円の指定管理料を市が支払っている。

【答弁】市民の保健衛生の向上や公衆浴場の活性化を図るために、経営者が実施する施設改善に対して補助金を交付している。補助率は、県と合わせて事業費の3分の2である。

令和8年度に向けては、サウナ設備の修繕について要望を受けており、費用の一部を補助するよう準備を進めている。

ボイラーを含むその他の施設や設備についても、施設改善を行う場合には、補助要綱の範囲で補助金を交付することができるものと考えている。今後も市民の皆さまの保健衛生の維持向上のため、この補助事業を継続していきたいと考えている。



金丸 康剛
自民新風会

答弁 除却支援事業の補助金について
必要に応じて拡充を検討する

本市における老朽危険空き家の実態や課題について

【質問】本市における老朽危険空き家の実態把握について伺う。また、危険空き家除却支援の強化についても、現状と課題、今後の取り組みを伺う。

空き家件数は、平成28年度に市内全域を調査した結果1654件であり、その後に近隣住民からの苦情や所有者からの相談があつた空き家を追加すると、令和7年4月1日現在で1745件である。このうち、倒壊等の危険性があり解体等の緊急度が極めて高い空き家は43件である。特定空家^{※2}への措置を講ずるにあたっては、周辺の建築物や通行人等に対して悪影響を与える可能性があるか否かや、周辺への悪影響の程度と危険度の切迫性なども勘案して総合的に判断する。

措置については、所有者に対して除却や修繕などの適正管理の依頼を書面で行っており、令和6年度実績は115件である。また、特定空家等に対する法に基づく指導1件・命令1件・勧告1件の実績がある。

本市では、除却費用の一部を補助する「老朽危険空き家除却支援事業補助金」を設けており、今後の拡充については国と県の制度の動向を踏まえ、必要に応じて対応を検討していく。



土田祐司
自民新風会

答弁 持続可能な運行の改善が必要である

のりあいバスの利用状況とルートやバス停の再検討について

【質問】のりあいバスの利用状況はどのようになっているのか。市民の声、課題を認識しどのような改善が必要かを伺う。

【答弁】令和6年度は1日160人程度の利用。午前中は高齢者の通院や学生の通学が中心である。バスの利用調査では、通学利用は1日あたり40名。

現状は運行経路が複雑であり、運行ルートやダイヤの見直し、便数の増加、利用方法の周知など持続可能な運行への改善が必要と認識している。

【質問】利便性向上策を検討し、持続可能な公共交通を運営するための市の考えを伺う。

【答弁】令和6年3月に策定した「観音寺市地域公共交通計画」に基づき、路線再編により利便性を図るための「観音寺市地域公共交通利便増進実施計画」策定に向けて進めている。

運行ルートやダイヤを見直し、運行時間短縮や便数の増加を目指すとともに、マップや位置情報などの利用者向けの情報発信を強化して利便性の向上に努める。

本市の地域交通の将来像は、拠点間の移動の迅速化を目指し、幹線交通の機能強化を図る。また、周辺部には幹線交通への接続を意識した支線機能を充実させるなど、効率的な公共交通ネットワークの構築を目指して、持続可能性の確保に努める。



※2 放置することにより倒壊など著しく保安上危険となる恐れや、著しく衛生上有害となる恐れがあり周囲の生活環境に著しい悪影響を及ぼす空き家。自治体が指定する。



岸上政憲
自民新風会

琴弾公園 錢形展望台へ訪れる
方のピーク時期のみ、巡回バスの運行を提案する

利用者数の予測が難しく、費用対効果も考慮する必要があり、今後の検討課題である

災害時に川を渡らざるを得ない場合への分散備蓄を提案する定の低い場所への分散備蓄を提案する
国の方針もあり、避難所ごとに分散備蓄に移行していく

答弁

【質問】近年の災害から学び、同等程度の災害が本市で起きた場合に置き換えて備える必要がある。市内には3本の大きな川があり、川を渡らざるを得ない場合への分散備蓄を提案するが、市の考え方を問う。

【答弁】防災備蓄品や食料は、コミニュニティ防災センター、総合運動公園、旧豊浜保育所にて保管している。国の方針でもある避難所ごとの分散備蓄に移行しているところである。





全ての利用者が快適に過ごせる、多様なニーズに対応した施設の実現を目指す

不登校児童生徒への支援と民間団体との連携について

答弁
一人一人の状況に応じて、学校や保護者
民間施設等の関係機関と連携して取り組む

災害時に川を渡らず行ける、被害想定の低い場所への分散備蓄を提案する
答弁
國の方針でもあり、避難所ご
との分散備蓄に移行していく

〔質問〕 近年の災害から学び、同程度の災害が本市で起きた場合に置き換えて備える必要がある。市内には3本の大きな川があり、川を渡らざるも行ける被害想定の低い安全な場所への分散備蓄を提案するが、市の考え方を問う。

〔答弁〕不登校児童の社会的自立につなげる上で、フリースクールなどの民間施設は居場所や学習機会の確保に効果が期待できると捉えている。活動目的や実績、スタッフの資格や在籍校との連携など、一定の要件整備を慎重に進める必要があり、他県の事例や実績、効果等を調査・研究していく。



答弁　全体事業費、市の財政負担の軽減に努める

〔質問〕 将来の財政負担や持続可能性は、市民が不安に感じている部分である。近年の異常な物価高騰に伴う事業費の見通しについてと、市が負担することになる19億5000万円が増えることはないのかを伺う。

〔答弁〕 基本設計を進めているなかで、新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用などにより、概算事業費75億1900万円、一般財源19億4400万円を超えないよう、財政負担の軽減に努める。

高齢者が安心して暮らせる地域づくりへ
移動手段確保策は

答弁
策定中の新たな計画で、のりあいバス
デマンド交通などを組み合わせる

【質問】本市の高齢者の割合は、2045年に策定中の新たな計画で、のりあいバスデマンド交通などを組み合わせる答弁

が、今後の方向性を伺う。

【答弁】 策定中の新たな交通計画「観音寺市地域公共交通利便増進実施計画」では、のりあいバスの運行ルートおよびダイヤ見直しや、必要に応じてデマンド交通などの他の移動手段を組み合わせることで、効率的に持続可能な移動支援体制を確立していく。





藤田 均
無所属(共産)

答弁
法改正に合わせて実施を
予定している

国保税18歳までの均
等割軽減について

【質問】自営業や農業、フリー
ランス、無職の方などが入る
国民健康保険の保険料（国保
税）の年額は、月収の約2カ
月分で負担が大きい。以前か
ら物価高騰対策として国保税の軽減を提案して
おり、4年前から未就学児の均等割が半額にな
った。さらに18歳までの軽減を提案する。



【答弁】国は均等割の軽減措置を18歳までに拡
大する方向で検討に入っており、関連法改正の
成立に合わせて本市の条例も改正する予定である。
新「道の駅」は年間85万人をいかに
集めるのか？責任は誰が取るのか？
穴吹エンタープライズや市内業者と検
討中であり、最後は市長が責任をとる

答弁

【質問】①具体的な建物の配置図や平面図、進
入路はいつ分かるか。また、他の業務について
は。②土地買収はできるのか。③施設には何軒
のテナントが入るのか。
【答弁】①配置図等は令和8年秋ごろ、他の業
務は同年3月後半に示す。②円滑な用地買収に
は、地権者の十分な理解、適正な価格の提示、
丁寧な対応が必要である。③テナ
ントは、指定管理候補者が出店希望事
業者とテナント料や設備等を協議し
て決まる。



立石 珠実
無所属(国民)

答弁
関係機関と協議し、認定新規
就農者の支援を行っていく

農業振興について

【質問】認定新規就農者^{※3}への支援は、中長期
計画の達成に向けて細やかな伴走型支援が
必要と考えるが、市の対応は。

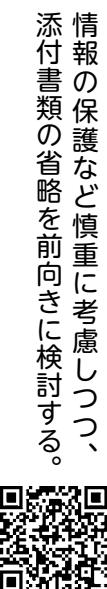
【答弁】現在、国・県・市がさまざまな補助施
策を実施しており、さらに農業改良普及センタ
ーや県農協などの関係機関と連携して経営安定
のためのフォローアップを行っている。今後も
引き続き支援を行う。

特定不妊治療について

答弁
申請者の負担軽減のために
前向きに検討する

【質問】①令和元年度以降の出生数の推移と令
和7年度の経過、②少子化の現状認識、③特定
不妊治療助成事業の概要と申請手続きにつ
いて

【答弁】①本市における出生数は、令和元年が
414人、令和2年が332人、令和3年が3
69人、令和4年が340人、令和5年が31
3人、令和6年が285人、令和7年が現在2
17人と、減少傾向にある。②少子化は国全体
の課題で、地域経済の活力低下も招く。地域全
体で子育てを支える仕組みの構築と、安心でき
る子育て環境の整備が急がれる。③保険適用後
も高額になる場合がある特定不妊治療^{※4}の自
己負担額を一部助成している。個人
情報の保護など慎重に考慮しつつ、
添付書類の省略を前向きに検討する。



合田 隆胤
自民新風会

答弁
具体的な負担軽減策を協
議していく

スポーツ少年団等へ
の支援について

【質問】物価高騰は深刻で、ナイター使用料な
どの負担が重い。負担軽減策を講じるか？
【答弁】市で整備したナイター施設で使用料減
額対応ができるない所は、速やかに対応する。

動物愛護について

答弁
県と連携を強化し^{※5}、効果
的な対策の実施に努める

【質問】野良猫の繁殖が急増しているが、命の
問題を現場任せにせず佐伯市政が動物愛護にも
踏み込むべきでは。

【答弁】ボランティアの意見を
取り入れ、周知チラシや補助金
の見直しを含め県と連携を強化
する。

新「道の駅」について

答弁
市民の皆さまの不安を拭
えるよう努める

【質問】以前のように時間稼ぎや逃げ回ると思
われてしまう表現ではなく核心に触れる答弁を
求む。「住民投票の実施予定」は？

【答弁】条例が制定されておらず、実施できない。
とと言われるが、具体的にどのように「責任」を
取るのか？



【答弁】失敗した時のことは考えず
に進めてるので、責任の取り方は
その時に考える。



※3 栽培技術の習得等に関する研修を県立農業大学校や先進農家
等のもとで行った後、経営開始から5年後の目標を定めた「青年
等就農計画」を作成し、当該計画の認定を受けた新規就農者。

※4 体外受精や顕微鏡受
精などの高度な医療技術
を必要とする不妊治療。

※5 動物愛護の
実施主体は県。

掲載できなかった代表質問

氏名	質問件名
豊浦 孝幸 (自民新風会)	●所信表明について ●アニメの活用（コンテンツ産業の育成）について ●人財について

氏名	質問件名
石山 秀和 (公明党)	●今後の財政運営見通しについて ●地元企業支援について

掲載できなかった個人質問

氏名	質問件名
白川 雅仁	●所信表明について ●GIGAスクール端末の更新について
大矢 一夫	●瀬戸内国際芸術祭（伊吹会場）のPRについて
詫間 茂	●有明浜の堤防について ●凪瀬町の埋め立て地について ●野球場の照明について ●陸上競技場の観覧席の建替えについて

氏名	質問件名
土田 祐司	●選挙の投票率の現状分析及び投票率向上について
岸上 政憲	●物価高騰対策への施策について
篠原 重寿	●投票率向上について
藤田 均	●新学校給食センターの試食会について ●放課後児童クラブの民間委託について ●スポーツ大会参加補助金の増額や施設使用料の軽減について
合田 隆胤	●学校給食について

いつ、どんな仕事をしているの？

議会が開かれる時、円滑に運営できるように委員会を開催して、必要事項の確認・協議を行っています。年に4回の定例会の度に少なくとも3回ずつ、臨時会が開かれる時や他にも必要に応じて追加で開催しています。

また、議会の運営や議会改革の先進的な取り組みを調査・研究するために、他の市議会へ視察研修に行くこともあります。

今までにどんなことをしてきたの？

◆傍聴席のモニター設置 & AI翻訳の字幕表示をスタート！

令和6年7月の委員会視察先である鳥取市議会の取り組みを参考に検討を重ね、翌年6月定例会からインターネットでの映像配信に字幕表示を開始した。同時に、聞き取りに不自由を感じている傍聴者に配慮して、字幕入りの議会映像を表示するモニターを傍聴席に設置した。

◆選挙時のポスター掲示場の設置箇所削減を提案

令和5年に、議会運営委員会の委員で組織している「議会改革検討協議会」から選挙管理委員会へポスター掲示場の設置箇所削減を提案。翌年の選挙から、地域の実情（住宅の増減など）に応じて適宜直しが行われている。



↑現在の委員（令和7年12月2日～）
委員7名に、オブザーバー※6として議長・副議長を加えた9名で活動しています。

※6 直訳で「立会人」「傍聴人」。委員会での採決には加われないが、客観的な視点から時には参考意見を述べ、バランスの取れたスムーズな話し合いを促す役割を果たす。

審議結果

議案の審議結果

令和7年第5回(12月)定例会

※提出議案などの詳細は、市議会ホームページ「提出議案等」をご覧ください。

●全会一致の議案

議案番号等	議案名	議決結果
議案第62号	観音寺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第64号	観音寺市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正について	//
議案第65号	観音寺市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正について	//
議案第66号	観音寺市下水道条例の一部改正について	//
議案第67号	観音寺市名誉市民の選定について	同意
議案第68号	公平委員会委員の選任について	//
議案第69号	粟井坂瀬山林管理会委員の委嘱について	//
議案第70号	伊吹辺地に係る総合整備計画の変更について	原案可決
議案第72号	市道路線の認定について	//
議案第73号	財産の取得について	同意
議案第74号	三豊総合病院企業団規約の一部変更について	原案可決
議案第75号	令和7年度観音寺市一般会計補正予算(第4号)	//
議案第76号	令和7年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第77号	令和7年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第78号	令和7年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第79号	令和7年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第80号	令和7年度観音寺市下水道事業会計補正予算(第3号)	//
議案第81号	監査委員の選任について	同意
議案第85号	観音寺市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第86号	観音寺市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	//
議案第87号	観音寺市第1号会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正について	//
議案第88号	観音寺市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正について	//
議案第89号	工事請負契約の変更契約の締結について	同意
議案第91号	令和7年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第92号	令和7年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計予算(第1号)	//
議案第93号	令和7年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
議案第94号	令和7年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第95号	令和7年度観音寺市下水道事業会計補正予算(第4号)	//

●賛否の分かれた議案

※議長には可否同数の場合のみ裁決権があります。
※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 除…除斥 退…退席

議員名	議案名等	議決結果																	
		三	藤	立	篠	岡	白	石	豊	土	立	詫	篠	合	合	岸	金	大	大
		好	田	石	原	崎	川	山	浦	田	石	間	原	田	田	上	丸	矢	平
議案第60号	観音寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第61号	観音寺市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第63号	観音寺市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第71号	観音寺市過疎地域持続的発展計画の策定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第82号	観音寺市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第83号	観音寺市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第84号	観音寺市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第90号	令和7年度観音寺市一般会計補正予算(第5号)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//

※会派別五十音順 ※会派に所属していない議員…立憲民主党、日本共産党、国民民主党、無所属

表紙写真の紹介



「星巡る天空の鳥居」

やまもと しゅん
観音寺第一高等学校 2年 山本 駿

私たち観音寺第一高校写真部は「思い」を大切に活動しています。写真で何が伝えられるかを考えながら、日々試行錯誤しながら頑張っています。本年度は全国総合文化祭への出場を果たしており、写真甲子園で本戦大会への出場を目指しています。

この写真は天空の鳥居として有名な稻積神社の上で円を描く星を撮ったものです。観音寺の街中からも夜空に広がる素敵なお星々が観察できます。ふとした時に見上げて観音寺の美しい空を知って頂けると嬉しいです。



観音寺市議会議員 会派等別名簿



会派に所属していない議員		公明党		自民新風会																	
5人		2人		11人																	
議員名	所属	議員名	所属	幹事長		代表		会員				会計	政務調査会長	幹事長	会長	顧問					
立石珠実	国民民主党	岡崎洋祐	無所属	三好優子	日本共産党	藤田均	立憲民主党	篠原重寿	白川雅仁	石川秀和	合田信一	金丸康剛	岸上政憲	篠原和代	大平直昭	土田祐司	合田隆胤	立石隆男	豊浦孝幸	詫間茂	大矢一夫

会派とは、同じ考え方や意見を持った議員が集まって結成されたグループのことです。議会での活動をともにするために、任意で結成されます。



12月の定例会の一般質問では、市民生活に直結する課題について会派の代表質問を含めて14名の議員が登壇し、47項目にわたり質問しました。改選後初の一般質問ということで、所信表明や選挙結果、物価高対策などを複数の議員が、市当局に問いただしました。広聴広報委員会も新たなメンバーとなりまして、市民フォーラムや市民との意見交換会等を実施させていただきながら、「開かれた議会」となるよう邁進いたします。これからも議会を身近に感じていただけるような企画に挑戦していきたいと考えております。今後とも市民の皆さまのご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

広聴広報委員長 岸上政憲

グリーン購入法総合評価値80以上の紙を使用しています。



この議会だよりは環境にやさしい植物油インキを使用しています。

編
集
後
記

26日	18・19日	16・17日	12・13日	10・11日	3日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議（一般質問）	本会議

委員長	岸上	政憲
副委員長	土田	祐司

合田 信一 立石珠実 岡崎洋祐 金丸康剛 白川雅仁

広聴広報委員会



UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

E-mail gikai@city.kanonji.lg.jp
URL <https://www.city.kanonji.kagawa.jp/>
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。